

2021 年度第 1 回鏡ヶ池会役員会議事録（案）

日 時：2021 年 04 月 23 日（金） 17:30～19:00

場 所：名古屋大学東山キャンパス 工学研究科 8 号館北棟 210 号室（土木工学専攻大会議室）
Zoom によるオンライン

出席者：三輪（16 期・会長）、竹内（3 期）、遠山（5 期）、加藤（7 期）、石川（10 期）、伊藤（11 期）、水野（12 期）、田中（13 期・会計幹事）、磯部（14 期）、向井（15 期）、大東（16 期）、織田（17 期）、岩田（18 期）、水谷（19 期）、片山（20 期）、後藤（21 期）、加藤（22 期）、中村（23 期）、中野（24 期）、野田（25 期）、鈴木（26 期）、石川（27 期）、川崎（29 期）、石川（31 期）、水野（32 期）、香川（33 期）、三輪（34 期）、田代（35 期）、中井（36 期・幹事長）、判治（37 期・副幹事長・名簿担当）、中村（39 期・会計担当）、渡邊（40 期）、宇佐美（42 期）、酒井（44 期・名簿・広報担当）、伊藤（45 期）、吉川（46 期・会計担当）、柿元（47 期・名簿担当）、坂（50 期）、石黒（52 期）、鈴木（52 期）、根橋（53 期）、古市（56 期）、森田（56 期・学生会会長）、広瀬（57 期）、佐藤（学部 4 年）、森（東京支部担当）、仙田（関西支部担当）、椿（広報しゃち担当）、清水（広報しゃち担当）、趙（留学生担当）

敬称略

出席者数 50 名

報 告

1. 2020 年度会計報告（資料 R3-2-1）

（中村友）

- ・ 2020 年度の会計報告がなされた。単年度ではほぼ収支差ゼロとなっているが、これはコロナ禍で行事を行うことができず、特に学生支援費と会合費に関する支出が減ったことによるものである。納入率の高い年長期のプレミアム会員への移行と若年期の会費納入率が低いことによる収入減に加えて、会員数の増加に伴う名簿・しゃちの作成費・郵送費は増加するため、繰越金は年々減少することが問題点として指摘された。
- ・ 会計担当へのプレミアム会員に関する問い合わせが多くなっている旨、報告があった。プレミアム会員の定義は、卒業後 48 年を迎えた期の会員がその年度の会費を支払い、かつ会費を完納している会員のことであり、年齢では定義されていないため、関連する期の幹事におかれてはその旨、同期会員に周知いただきたいとの依頼があった。

2. 後援基金報告（資料 R3-2-2）

（田代）

- ・ 後援基金使用ルールに変更はなく、令和 2 年度の報告がなされた。コロナ禍で行事が開催されていないこともあり、終身会員資格に関する支出のみであった。ただし、年間 30 万円程度の支出が繰り返されているため、繰越金は徐々に減少している状況であることが報告された。
- ・ 今年度予定されている土木教室 60 周年事業で収入あるいは剰余金が発生することが想定

されるため、そのあたりも考慮に入れながら後援基金を持続的なものにしていきたい旨、説明された。

3. 支部活動報告 (支部幹事)
 - 1) 東京支部 (資料なし) (森)
 - ・ コロナ禍で支部会員を対象とした活動は行われていないこと、今年度の幹事は日本製鉄(株)の手島氏に依頼しているが、同社の支部会員が 2 名しかいないため、引き続き、現執行部の JFE エンジニアリングでフォローする旨、報告された。
 - ・ 活動報告資料については後日整理のうえ、メールにて共有頂くこととなった。
 - 2) 関西支部 (資料 R3-2-3) (仙田)
 - ・ 幹事に変更がないこと、昨年度はコロナ禍ですべての支部活動が停止した状態であるため収支は大幅な黒字であることが報告された。
 - ・ 今年度の支部活動については例年通りを予定しているが、コロナの状況を見て開催の可否を判断していく旨、説明された。
4. 教室近況報告 (資料 R3-2-4) (戸田 代理：中井)
 - ・ 本年度の土木工学専攻長 (教室主任) は戸田祐嗣教授である旨、紹介された。
 - ・ 2021 年 1 月に永石雅史氏が社会基盤機能学講座の教授に、2020 年 9 月に西口浩二氏が構造・材料工学講座 (構造解析学・鋼構造学グループ) の講師に、2021 年 4 月に豊田智大氏が地盤工学講座 (地盤防災工学グループ) の助教に、郭静氏が環境学研究科都市環境学専攻持続発展学系物質環境構造学講座の助教に就任された旨、紹介があった。
 - ・ 2020 年 8 月に構造・材料工学講座 (材料・形態学グループ) の三浦泰人氏が助教から准教授に承認された旨、紹介された。
5. 女子の会活動報告 (資料なし) (尾花 代理：中井)
 - ・ コロナ禍で活動は停止している旨、報告された。
6. 学生会活動報告 (資料 R3-2-6) (森田)
 - ・ 今年度の活動は、例年通り、名大祭土木展への出展、ソフトボール大会、土木懇親会、卒業記念パーティを予定しているが、「新型コロナウイルス感染症における名古屋大学の活動方針」に従って開催の可否を判断していく予定である旨、報告された。
7. 留学生関連活動報告 (資料 R3-2-7) (趙)
 - ・ コロナ禍で例年実施の Tea Chat Party は中止、Newsletter も未発刊である旨、報告された。ただし、留学生の修了式は対面と Online のハイブリッドで実施した旨、紹介があった。
 - ・ Alumni Newsletter Issue No. 7 については、記事作成が終了してデザイン依頼中であり、5 月初旬にメール配信予定である旨、紹介された。
 - ・ 4 月入学の留学生のための Welcome イベントはオンラインで開催予定である旨、紹介があった。今後の行事開催については、国際委員会で議論中であるとのこと。

8. 土木事業談話会・就職面接マナーセミナーの実施報告（資料 R3-2-8）（中井）
- ・ 両行事ともにコロナ禍を鑑み、ZOOM を利用したオンラインで開催された旨、紹介があった。オンラインの利点かもしれないが、例年よりも参加者が多かったことが補足された。
9. 国家公務員試験対策の報告（資料 R3-2-9）（中村友）
- ・ 2020 年 10 月に国交省から講師を招き、同年の合格者と一緒に説明会を対面で実施したこと、10 月から 12 月にかけて国家公務員試験対策を対面とオンラインの併用で実施したこと、3 月に模試を対面で実施したことが報告された。
 - ・ 2020 年度の試験結果報告がなされ、18 名が 1 次試験に合格、内 10 名が 2 次試験に合格、2 名が官庁訪問を経て採用された旨、紹介された。
10. その他（資料 R1-2-8）
1. 同窓会サミットとホームカミングデイについて（中井）
 - ・ 同窓会サミットが 7/3(土)16 時から対面にて、ホームカミングデイが 10/16(土)に開催予定である旨、報告された。ホームカミングデイは遠隔での開催が決定しているが、周年記念の卒業生のみ豊田講堂で参加いただく予定とのこと。また、全学同窓会の会長を長らく豊田氏に務めて頂いたため、セレモニーを行うことを検討中と紹介された。
 2. 教室 60 周年事業について（中井）
 - ・ 50 周年のような行事開催はせず、記念誌の作成を進めている旨、報告があった。
 3. 同窓会等報告（中井）
 - ・ なし

議 事

1. 役員・幹事の変更（資料 R3-1-1）（中井）
 - ・ 教員幹事が戸田祐嗣教授に交代となった旨、再確認された。
 - ・ 3 期幹事が南川洋士雄氏から青木徹彦氏に交代、44 期幹事が奥岡桂次郎氏から酒井崇之氏に交代、52 期幹事が石黒裕崇氏から鈴木彩華氏に交代となる旨、提案があり、審議の結果、承認された。
 - ・ 学生会会長が進級に伴って森田大登氏に、4 年生幹事に佐藤健太氏と藤本ひかり氏が加わることになった旨、紹介があった。なお、57 期幹事の 1 名については現在調整中とのこと。
 - ・ 鏡ヶ池会教室後援基金運営委員として、後藤徳善氏（21 期）・二井内正典氏（41 期）から中村光氏（23 期）・酒井崇之氏（44 期）に交代となった旨、紹介があった。
2. 令和 2 年度第 1 回鏡ヶ池会役員会議事録の確認（資料 R3-1-2）（三輪）
 - ・ 令和 2 年度第 1 回鏡ヶ池会役員会議事録の確認が承認された。

3. 「会員名簿 No.57」編集方針（資料 R3-3-3）（判治）
- ・ 名簿 No.56 については、前号までの編集作業と同様、事務員に作業を担当いただき、
 - ・ 例年通りのスケジュールで送付に至ったこと、ただし一部の情報が未更新であることが発覚したため、差し替え版が郵送されたことが報告された。
 - ・ 紙媒体名簿として昨年度は 30 冊作成して名誉教授に 16 部を寄贈するとともに、1 部 3000 円にて頒布する旨、周知したところ、4 名が購入した（残 10 部は鏡ヶ池会買取）旨、紹介があった。本年度分については、協議の結果、同数量分作成することとなった。
 - ・ 返送数が例年 100 名分ほどあり、連絡先情報の更新ができていないことが要因であるため、引き続いての協力要請があった。今後、名簿の編集時期（8 月を予定）に更新依頼する名簿データ（エクセルシート）において、不明情報については「¥不明」フラグが付されているため、これに注意して編集いただきたい旨、各期幹事に要請があった。なお、名簿 No.57 については、例年通りのスケジュールで編集進める予定であるとのこと。
 - ・ CD を読み込めない PC が増えているため、他媒体での配布も検討頂きたいとの要望もいくつか届いているが、USB については金額面でかなり負担がかかるため難しいとの説明があった。名簿データの配布媒体については、引き続き検討していくこととなった。
4. 「しゃち No.62」編集方針（資料 R3-3-4）（椿）
- ・ 例年通りの構成とする編集方針とともに、本号の特集テーマとして、「新たな社会の基盤」、「持続可能な開発目標」「わたしの景観」が案として示され、それに対する意見が照会された。特段の意見は出なかったため、今後、編集委員会を中心に定めていく方針が確認された。
5. サーバーの管理について（資料 R3-3-5）（酒井）
- ・ 契約中のレンタルサーバーとドメイン「kagamigaikekai.com」の更新について、6 月 30 日期限で手続きを行う必要があったためにこれを実施した旨（サーバーレンタル料 16,848 円/年、迷惑メールフィルター1,296 円/年、ドメイン管理費 11,480 円/3 年、いずれも税込み）、説明があった。協議の結果、承認された。
6. 第 31 回総会について（資料 R3-3-6）（中井）
- ・ コロナ禍を鑑み、総会はオンライン開催とすること、懇親会は中止とすること、特別講演会を開催することが提案された。協議の結果、提案の通り承認された。
 - ・ 特別講演会のテーマ案としては、①名古屋市の魅力発見、②名古屋城本丸御殿の復元関係、③地震災害関係、④名大土木教室 60 周年などが提案され、それに対する意見照会がなされた。特段の意見は出なかったため、今後、執行部で検討・調整していく方針が確認された。
 - ・ 総会の開催日時について、特別講演会の実施も踏まえて、土曜日の 13 時からの開催案が提示され、意見照会がなされた。特段の意見は出なかったため、6 月 26 日（土）を第一候補に、執行部で検討・調整していく方針が確認された。

7. その他

- ・ 2021年度第2回鏡ヶ池会役員会は10/22（金）の17:30より実施することとした。開催形態は状況を見て改めて連絡することとした。

以上